国立駅南口駅前広場整備

コレマデ → コレカラ

のあゆみ

1926（大正 15 年）当時の国立大学町の写真　写真：くにたち郷土文化館所蔵

2023（令和５）年、国立駅南口駅前広場基本設計の公募型プロポーザルを実施し、いよいよこれから、国立駅前の東西広場、円形公園の整備といった「国立の顔づくり」がスタートします。

今に至るまで、たくさんの市民の皆さまのご意見をいただいてきました。これまでの取り組みのあゆみをご紹介します。

旧国立駅舎内でも、国立駅周辺整備に関する展示を行っています。なお、４月１日（月）以降、展示はすべて旧国立駅舎内に移動して、４月５日（金）まで展示を行います。

2009（平成 21）年

まちづくり基本計画

国立駅周辺のまちづくりの基本的な考え方を示しました。

2010（平成 22）年～2014（平成 26）年

国立駅周辺まちづくり会議

国立駅周辺のまちづくりについて、専門家、市民、関係機関が包括的に検討を進めてきました。

2020（令和２）年

旧国立駅舎の再築

国立駅前のシンボルを再築しました。

2021（令和３）年

市民アンケートの実施

東西広場や円形公園等の整備コンセプトなどについて市民の皆さまの意見を収集しました。

2022（令和４）年

旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針の策定

東西広場・円形公園整備の３つの目標、７つの整備のポイントをまち・広場・活動の視点から示しました。

ポイント

2022（令和４）年

デザインアイデアコンペ

広く市民の皆さまから、具体的な広場のアイデアを募り、駅前整備で大切にしたい視点を明確にしました。

ポイント

各優秀作品の評価のポイント

- 国立駅前らしさ
- ユニバーサルデザインへの配慮
- 自然環境や生態系への配慮
- 多世代の利用や交流
- 周辺の都市空間との関係性や景観への配慮
- 設計や維持管理のプロセスへの市民等の関わり
- 日常・非日常における多様な使い方や過ごし方への対応

2023（令和５）年

基本設計プロポーザル

整備に向けて、基本設計を行う事業者を選定しました。

コレマデ

国立駅周辺の整備は、「国立駅周辺まちづくり基本計画｜2009（平成 21）年」に基づき、検討を進めています。2010（平成 22）年～2014（平成 26）年にかけては、国立駅周辺まちづくり会議でまち育て・景観・交通の３つの部会ごとに、国立駅周辺のまちづくりについて包括的に検討をしてきました。

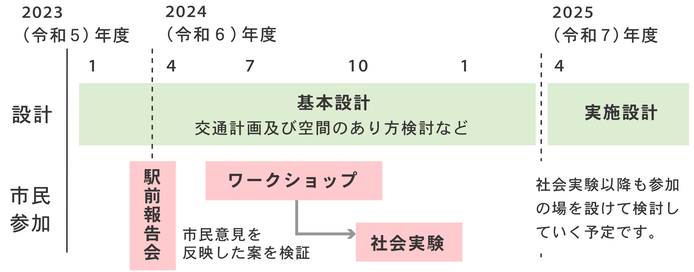
南口の整備については、2020（令和２）年に旧国立駅舎を再築し、今後は南口ロータリー及び円形公園、東西広場の再整備を予定しています。

今後の南口の整備に向けて、2021（令和３）年に整備コンセプトなどに関する市民アンケートを実施し、2022（令和４）年 7 月に「旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針」を策定しました。

2022（令和４）年度には「国立駅南口駅前デザインアイデアコンペ」を実施し、18 の優秀作品の選定を通じて、整備で大切にしたい視点を明確にしました。

そして、2023（令和５）年、基本設計業務の公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定しました。

コレカラ



今後も市民の皆さまの意見や地域の意向を聞きながら、国立駅南口駅前広場が、これまでの歴史や理念を継承し、旧国立駅舎とともに「くにたち」の顔となることを目指して基本設計を進めていきます。